

平成22年度7月事業計画の変更について

平成22年度開催を予定していた「ダン・フレイヴィン展」は、このコレクションを管理するアメリカの会社が運営継続困難になったため、展覧会の開催が難しくなった。

調査の結果、同じ時期で「ブラティスラヴァ世界絵本原画展とチェコの人形劇」の開催が可能であることがわかったため、企画展として開催することとし、それに伴う事業計画を変更する。

当初事業計画書からの変更については、14ページ～15ページの内容を以下のとおり、変更する。

エ [開館15周年記念特別企画 2]

企画展名	ブラティスラヴァ世界絵本原画展とチェコの人形劇
期 間	平成22年10月5日(火)～12月5日(日)
主 催	千葉市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
巡 回 先	平塚市美術館、飯田市美術博物館、足利市立美術館、うらわ美術館
内 容	2年ごとにスロヴァキアの首都ブラティスラヴァで開催される世界最大規模の絵本原画展から、2009年度展受賞作品、および同展に出品した日本人作家の出品作を厳選して展示。加えて絵本のルーツともいふべき、スロヴァキアの隣国、チェコの人形劇も紹介する。

オ [開館15周年記念特別企画 3]

企画展名	帰ってきた江戸絵画 ニューオーリンズ ギッター・コレクション展
期 間	平成22年12月14日(火)～平成23年1月23日(日)
主 催	千葉市美術館、NHKプロモーション
巡 回 先	松坂屋美術館、静岡県立美術館、福島県立美術館、京都府京都文化博物館
内 容	アメリカ・ニューオーリンズ在住のギッター夫妻が収集した伊藤若冲、琳派、禅画などユニークな江戸時代の絵画約100点を紹介する。

カ 市民展

企画展名	第42回千葉市民美術展覧会
期 間	平成23年3月5日(土)～3月25日(金)
主 催	千葉市美術協会・千葉市文化連盟・千葉市・千葉市美術館
内 容	市民から公募した作品及び千葉市美術協会会員の作品約1,000点を7部門に分けて展示する。

キ 所蔵作品展Ⅰ

所蔵作品展名	リニューアル・オープン記念所蔵名品展 近代日本美術の百花 ^{ひゃっか}
期 間	平成22年4月6日(火)～5月9日(日)
内 容	当館の所蔵作品の近代日本美術から、「花」をテーマに版画約200点、絵画約50点を紹介する。

ク 所蔵作品展Ⅱ

所蔵作品展名	江戸みやげ ～所蔵浮世絵名品選～
期 間	平成22年5月22日(土)～6月27日(日)
内 容	当館の所蔵作品の中から、浮世絵作品のコレクションを中心に展示する。

ケ 所蔵作品展Ⅲ

所蔵作品展名	勅使河原蒼風と戦後美術 ^{てしがはらそうふう}
期 間	平成22年7月6日(火)～8月15日(日)
内 容	(財)草月会から寄託された美術品を基に、いけばなのみならず様々なジャンルで

	活躍した勅使河原蒼風と関係する造形作家のコレクションを紹介する。
--	----------------------------------

コ 所蔵作品展Ⅳ

所蔵作品展名	わが心の千葉
期 間	平成22年8月21日(土)～9月26日(日)
内 容	「田中一村」展に合わせ、所蔵作品の中から戦前の千葉を描いた作品を中心に展示する。

サ 所蔵作品展Ⅴ

所蔵作品展名	新収蔵作品展／武蔵野美術大学美術資料図書館所蔵 ネフ・コレクション展
期 間	平成23年1月29日(土)～2月27日(日)
内 容	近年美術館に寄贈・寄託された作品を公開する。／武蔵野美術大学美術資料図書館が所蔵するヨーロッパの木製玩具のコレクションを紹介する。

* 上記の展覧会名は変更する場合があります。

② 教育普及事業

ア 展覧会関連の各種講座やギャラリートークなど

講 座 名 等	会 場	参加予定(人)	時 期
「伊藤若冲-アナザーワールド-」 講演会	美術館講堂	延べ300	会期中2回
「MASKS-仮の面」 講演会	美術館講堂	延べ150	会期中1回
「MASKS-仮の面」 ワークショップ	美術館講堂	20	会期中1回
「田中一村 新たなる全貌」 講演会	美術館講堂	延べ150	会期中1回
「ブラティスラヴァ世界絵本原画展とチェコの人形劇」 講演会	美術館講堂	延べ150	会期中1回
「ギター・コレクション展」 講演会	美術館講堂	延べ300	会期中2回
ニューオーリンズ・ジャズ・ナイト	美術館講堂	50	会期中1回
ボランティアによる各展覧会定例ギャラリートーク	展示会場	延べ800	会期中週1回
ボランティアによる各展覧会自主ギャラリートーク	展示会場	延べ800	約80回
学芸員による各展覧会ギャラリートーク	展示会場	延べ300	12回
木版画摺り体験ワークショップ	1階入口	延べ150	1回
木版画年賀状制作講座	講座室	20	1回
中学生のためのギャラリークルーズ	展覧会場	60	1回

* 上記の関連行事名は変更する場合があります。

イ ボランティアスタッフとの協働

ボランティアスタッフ28人(平成22年2月現在)により、ギャラリートークを実施する。また、前年度に引き続き、小・中・特別支援学校鑑賞教育と学校団体鑑賞プログラムにおける鑑賞リーダーや、各種ワークショップへの協力を依頼するほか、千葉市生涯学習センター主催の「まなびフェスタ」への参加や、地域とも連携して美術館へのアクセスを考えるグループの活動も行う。今年度は活動のさらなる充実をめざし、第三